



学生時代に農業の 検定資格を取ろう！

社会人に向けて農業知識のキャリアアップを図ろう！



農技検

2022年度農林水産省・文部科学省後援

日本農業技術検定

応募期間 [第1回] 4月28日(木)～6月3日(金) [第2回] 10月3日(月)～11月4日(金)

受験級 [第1回] 3級・2級 [第2回] 3級・2級・1級

試験日

第1回

7/9

土

第2回

12/10

土

日本農業技術検定は、わが国の農業現場への新規就農のほか、農業法人や関連企業等への就業を目指す学生や社会人などを対象として、農業知識や技術の修得水準を客観的に把握し、教育研修の効果を高めることを目的として、2007年度から実施している農業専門の全国統一の試験制度です。

大学で学んだ農業に関する実践的知識の修得水準を客観的に測定しますので就職に向けたキャリアアップに役立ちます。勉学の成果を検定に活かしましょう(国の普及指導員資格試験は、大学卒業後4年の実務経験が受験資格となっているため、現役大学生では受験できなくなっています。一般的に就職時には各種資格取得がある方が有利です)。

実施主体

日本農業技術検定協会
(事務局：一般社団法人全国農業会議所)

TEL：03-6910-1126 FAX：03-3265-5140

e-mail：kentei@nca.or.jp

<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>



【日本農業技術検定協会構成団体】

(一社)全国農業協同組合中央会／全国町村会／全国農業高等学校長協会／全国農業大学校協議会／全国農学系学部長会議／全国大学附属農場協議会／(公社)日本農業法人協会／(一社)全国農業改良普及支援協会／(公財)農民教育協会／(公社)国際農業者交流協会／(一社)日本農業機械化協会／(一社)全国農協観光協会／(一社)農山漁村文化協会／(一社)全国農業会議所(事務局)の14団体によって構成されています。

日本農業技術検定 概要

第1回

2022年7月9日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

応募期間

第1回 4月28日(木)~ 6月3日(金)

第2回 10月3日(月)~11月4日(金)

試験会場

一般受験は東京・大阪等各地の指定会場

団体受験は試験実施団体の準備・提供した会場

[2021年度優秀表彰団体] ※「農業高等学校の部」除く

(3級) (JAの部) 最優秀団体: JAみなみ信州、優秀団体: JA三島函南、JA松本ハイランド、JA福岡市。

(2級) (農業大学校等の部) 最優秀団体: 専門学校山梨県立農業大学校、アグリイノベーション大学校関西校、優秀団体: 栃木県農業大学校、埼玉県農業大学校、アグリイノベーション大学校関東校、新潟農業・バイオ専門学校、長野県農業大学校、鳥取県立農業大学校、熊本県立農業大学校、大分県立農業大学校。

(大学の部) 最優秀団体: 佐賀大学農学部、優秀団体: 拓殖大学北海道短期大学、茨城大学農学部、玉川大学農学部、鳥取大学農学部。

(JAの部) 最優秀団体: 沖縄県農業協同組合、優秀団体: JA東京中央、JA富士市。

※拓殖大学北海道短期大学、酪農学園大学、宮城大学、秋田県立大学、茨城大学、高崎健康福祉大学、玉川大学、東京農業大学(神奈川、北海道)、日本大学、岐阜大学、静岡県立農林環境専門職大学、名城大学、新潟大学、新潟食料農業大学、信州大学、京都先端科学大学、摂南大学、鳥取大学、県立広島大学、佐賀大学、東海大学(熊本)、大分短期大学、南九州大学、宮崎大学、琉球大学、では大学生の団体受験を進めています。多くの大学では学生が元々農業経験もないため大学での農学習得の補強手段として活用されているほか、日本大学生物資源科学部では農場実習の中で本検定受験に取り組んでいます。

※JAはこたて、JA前橋市、JA東京中央、JAマインズ、JAかながわ西湘、JA梨北、JAぎふ、JA御殿場、JA南駿、JA伊豆の国、JA富士市、JA遠州夢咲、JA富士宮、JA三島函南、JAあいち豊田、JAひすい、JA石川中央会、JA福井中央会、JA長野中央会、JA上伊那、JA木曾、JA中野市、JAあづみ、JA信州諏訪、JA佐久浅間、JA信州うえだ、JAみなみ信州、JA松本ハイランド、JAながの、JA東びわこ、JAこうか、JA西びわこ、JA大阪泉州、JA大阪南、JAいづみの、JA丹波ひかみ、JA兵庫六甲、JA三原、JA板野郡、JA香川県、JA福岡中央会、JA粕屋、JA福岡市、JA糸島、JA筑前あさくら、JAにじ、JAくるめ、JAふくおか八女、JA柳川、JAたがわ、JA福岡京築、JAくま、JA大分県、JAべつが日出、JAおきなわ、では営農指導力の向上や一般職員のキャリアアップを目的に団体受験を実施しています。

県連グループとして、営農指導員上級資格の要件の一つとしたり、一般職員は全員3級資格を取得する取り組みを進めるところもあります。

※本検定の上位資格は、一定の農業に関する実務的知識を習得していることの証明になります。

第2回

2022年12月10日(土)

3級 10:00~10:40 (40分)

2級 11:10~12:10 (60分)

1級 13:00~14:30 (90分)

受験料(税込)

	一般受験	団体受験	団体受験 (学生割引)
3級	3,140円	2,620円	1,570円
2級	4,190円	3,350円	2,090円
1級	5,240円	4,190円	2,620円

※複数級受験割引=学科の「3級と2級」又は「2級と1級」を同一検定日に受験の場合、受験料を1,000円割引。

試験方法

[3級] 学科試験のみ

[2級] 学科試験+実技試験

[1級] 学科試験+実技試験

※1級、2級も学科試験のみの受験が可能です。学科に合格した場合は、「学科試験合格証明書」を発行します。なお、1級・2級実技試験は免除措置があります。詳しくは本検定ホームページをご覧ください。

3級 試験科目	農作業の意味がわかる入門レベル	■ 農業基礎として共通30問 ■ 「栽培系」「畜産系」「食品系」「環境系」から1科目選択で20問。ただし、「環境系」については、環境共通10問と3専門分野(造園、農業土木、林業)別に各10問 ■ 四者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象: 農業高校生	
2級 試験科目	農作物の栽培管理等が可能な基本レベル	■ 農業一般として共通10問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計50問
	主な受験対象: JA営農指導員・大学生	
1級 試験科目	農業の高度な知識・技術を修得している実践レベル	■ 農業一般として共通20問 ■ 「作物」「野菜」「花き」「果樹」「畜産」「食品」から1科目選択で40問 ■ 五者択一のマークシート方式による計60問
	主な受験対象: JA営農指導員・大学生	

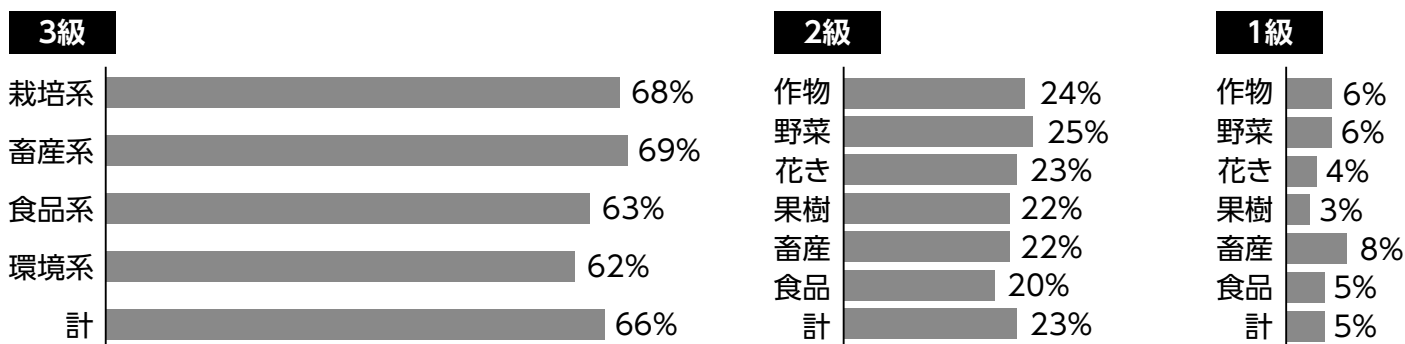
日本農業技術検定の受験実績

①全体受験実績(2016～2021年度)

(受験者数(人)
合格率(%))

	3級	2級	1級	合計
2016年度	20,183人(62%)	5,350人(19%)	308人(8%)	25,841人(53%)
2017年度	20,681人(56%)	5,743人(18%)	277人(6%)	26,701人(47%)
2018年度	20,521人(62%)	5,365人(20%)	247人(9%)	26,133人(53%)
2019年度	19,992人(59%)	5,311人(23%)	266人(7%)	25,569人(51%)
2020年度	18,790人(66%)	3,015人(21%)	206人(7%)	22,011人(59%)
2021年度	20,939人(66%)	5,908人(23%)	265人(5%)	27,112人(56%)

②科目別合格率(2021年度)



③合格基準

[3級] 100点満点の原則60%以上

[2級] 100点満点の原則70%以上

[1級] 120点満点の原則70%以上

実技試験

(2級、1級試験では学科のみの受験も可能です。学科試験合格者には学科試験合格証明書が交付されます。実技試験までご希望の方は以下をご参照ください)

①2級実技試験免除

2級実技試験(農業機械についてのほ場での実地検定)の希望者は11月に受験の機会があります。農業系の学校(農業高校、農業大学校、大学等)での農場実習、農業経験(JAの営農指導経験を含む)1年以上、2級実技試験免除規定に指定する農業用機械・食品加工の2機種(工程)以上を履修していれば免除が可能となります。

学校での2級団体受験の場合は、学校(団体)としての2級実技免除手続きをお薦めします(5年間有効)。具体的な手続きは本検定ホームページをご覧ください。

※2級、1級ともに免除申請がない場合の合格証は「学科試験合格証明書」になります。

※農業機械の実習証明に必要な講習会については本検定ホームページをご参照ください。

②1級実技試験免除

1級実技試験(12月の1級学科試験と同日時に開催)は1級学科試験合格者の希望により受験が可能です。農業系の学校での、農場実習等4単位取得者又は2年以上営農実務経験を有する方は免除が可能となります。詳細は本検定ホームページをご覧ください。

申込方法

お申し込みは
ホームページから

<https://www.nca.or.jp/support/general/kentei/>

①一般受験

個人がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「一般受験」画面から申し込む。

「農の雇用」事業研修生は、都道府県農業会議が受験者をまとめてインターネットで申し込む。

※受験料の振込先口座番号は受験者(団体)別になっており、毎回変わります。応募期間内に所定の振込口座へ受験料をお振込みください。

②団体受験

学校・JA・農業法人など要件を満たす実施団体(受験者5名以上、試験会場を提供、試験官1名以上担当など)がインターネットで申し込む場合は、申込方法の「団体受験」画面から申し込む。

テキスト・参考書 (購入方法などの詳細は本検定ホームページをご覧ください)

テキスト・参考書を活用して、①過去問題集を解いて出題傾向をつかむ。②過去問題集の解説やテキスト、高等学校農業用教科書で問題を確認する。③自分の苦手な領域を重点に②の確認を行う。④類似した出題もあるので過去問題集を何度も学習する—などの勉強方法も効果的です。

2022年版
日本農業技術検定
過去問題集
(2級・3級)
好評販売中!

3級

- (1) 2022年版過去問題集3級 (発行) 全国農業会議所
*2019年度、2020年度、2021年度試験問題5回分を収録
- (2) 日本農業技術検定3級テキスト (発行) 全国農業高等学校長協会
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行) 教科書出版社

2級

- (1) 2022年版過去問題集2級 (発行) 全国農業会議所
*2021年度試験問題2回分を収録
- (2) 日本農業技術検定2級テキスト(全面改訂版)^注 (発行) 全国農業会議所
- (3) 文部科学省検定教科書 高等学校農業用 (発行) 教科書出版社

1級

- (1) 1級学科試験問題…日本農業技術検定協会(全国農業会議所)
*2019、2020、2021年度試験問題、年度毎に実費販売
- (2) 日本農業技術検定1級…参考図書例 農業関係出版社

農業知識を
まとめて1冊に!

日本農業技術検定
2級テキスト(全面改訂版)

内容を大幅拡充
頁数も倍増

*5月末刊行予定

※1級試験問題は過去問題の出版物はありません。ホームページをご覧の上、日本農業技術検定協会事務局宛(kentei@nca.or.jp)にメールにてご連絡ください。実費でコピーして送付いたします。

※テキスト・参考書については、それぞれの発行元にお問い合わせください。 全国農業高等学校長協会 TEL.03-5357-1666

注) 2級テキストの全面改訂版は、5月末刊行予定です(全国農業会議所発行)。

大学での団体受験の取り組み紹介

日本大学生物資源科学部生命農学科では、1年生と2年生が受講する農場実習の中で日本農業技術検定の受験を取り入れ、1年生が3級、2年生では2級を合格目標として合格すると実習の評価にも反映されます。実習では、検定試験に関する内容も取り入れて、実物を見ながら学ぶことで学生の理解が深まり、農場実習に対する目的意識も明確になって取り組みも真剣になったようです。令和元年度には全体で225人が受験し、2年度118人、3年度117人と継続して受験の成果を上げています。全国大学附属農場協議会では、こうした教育手法を評価して、2年度全国大学農場教育賞を授与しました。

名城大学農学部では、もともと農業に馴染みのない学生が学科の授業や農場実習の体験だけでは制限がある中で、広く農業技術の知識を取得する上での動機付けや、自身の勉学の到達度の判定に役立てばという考えから、平成30年度より団体受験に取り組んでいます。令和3年度には1~3級の受験がありました。難関の1級に1人が合格し、2級も10人が

合格して、本検定の受験活用の実績を積み上げてきています。

茨城大学農学部では、令和元年度に45人で2級の団体受験にチャレンジしました。同学部では、学生が身に付ける学力として「農学分野の専門知識と技術の修得」を掲げ、卒業生が公務員や研究機関、食品企業などに進むことが多く、就職にあたって学生のスキルアップ、キャリア取得の促進を目的にした取り組みです。必修科目の「農学実習」で実技試験が免除され、補習となる対策講座を開講するなど、学生の受験を積極的に支援した結果、2年度30人、3年度42人が2級受験に組み、高い合格率を確保して、元年度から毎年、本検定の優秀表彰団体に選ばれています。

鳥取大学農学部では、令和3年度から受験者が倍増して2級受験者だけでも約40人もいて合格率も約50%と高い実績です。これは農場実習の中で2級受験の実技免除をクリアし、在学中のキャリアアップを図るため学部の後援会経費から受験料全額の補助制度を適用したことによるものです。1級合格者も輩出しました。

日本農業技術検定への協賛企業・団体 —— 私達も応援しております!



日本農業技術検定に関するお問い合わせ

日本農業技術検定協会 (事務局：一般社団法人 全国農業会議所)

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6 あいおいニッセイ同和損保 二番町ビル7階

TEL:03-6910-1126 FAX:03-3265-5140 e-mail:kentei@nca.or.jp